UNESCO WEEK 2024

ユネスコスクール
全国大会

unesco
Member of
the Associated Schools
Network

東京都立山崎高等学校の「総合的な探究の時間」
ー グローバル・ネットワークの活用 ー

阪田　紫帆里

東京都立山崎高等学校・教諭

目次

1. 本校の紹介
2. 実践紹介
   本校のグローバル・ネットワークを活用した
   「総合的な探究の時間」
3. 成果と課題
4. 今後の展望

1．本校の紹介

1. 本校の紹介

東京都立山崎高等学校
unesco
Member of
the Associated Schools
Network
2024

1. 本校の紹介

Welcome To
TOKYO METROPOLITAN
YAMASAKI
HIGH SCHOOL
ようこそ
山崎高校へ
unesco
Member of
the Associated Schools
Network

1. 本校の紹介

- 東京都町田市（町田駅からバス20分）
- ユネスコスクールキャンディデート校（2021年6月～）
- ユネスコスクール（2022年12月～）

都立高校としては4番目の認定

（西東京地区の都立高校としては初！！）

本校の

東京都西部学校経営支援センターだより
令和５年２月28日　発行
第160号

西　～にし～

Good News

■山崎高等学校「ユネスコスクールに認定！」

昨年 11 月、本校は都立高校では４校目となるユネスコスクールに認定されました。

ユネスコスクールは、ユネスコの理念や目的を学校のあらゆる面（組織運営や授業、プロジェクト、経営方針など）に位置付けて、児童・生徒の「心の中に平和のとりでを築く」ことを目指し、学びの４本柱（「知ることを学ぶ」「為すことを学ぶ」「人間として生きることを学ぶ」「共に生きることを学ぶ」）を重視しています。

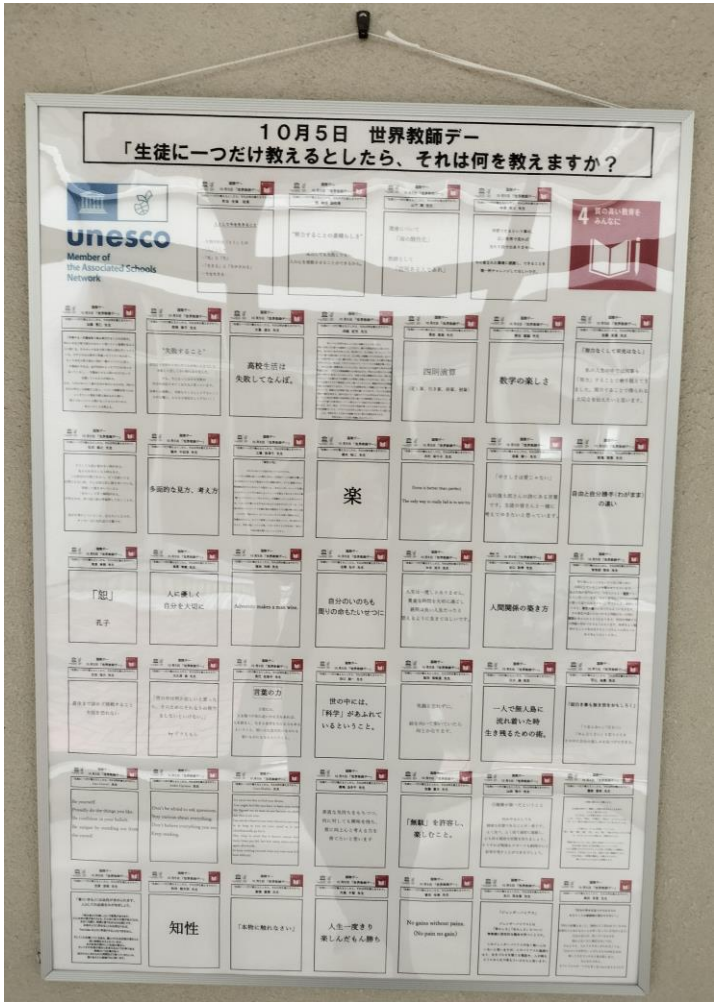
本校での活動では、多くの生徒が学ぶ１年生の「人間と社会」や２・３年生の「物理」の授業などでこれまでもユネスコが提唱する理念を重視し、海外の学校との交流やJAXA 相模原キャンパスなどからの出前講演など国家間及び地域間での連携を進め、体験的な学習を取り入れた活動を行ってきました。

これからも生徒が国際社会の構成員であるという意識を持ち、授業内での実験や体験活動を通じて、持続可能な開発目標 SDGs（特に４番目の「質の高い教育をみんなに」と、７番目の「エネルギーをみんなに」）の達成に貢献できるように取り組みます。また、国際ネットワークの一員として、海外の学校との交流も同じ目標をもってお互いを受け入れ理解し合えるように活動を行っていきます。　（教諭・阪田 紫帆里）

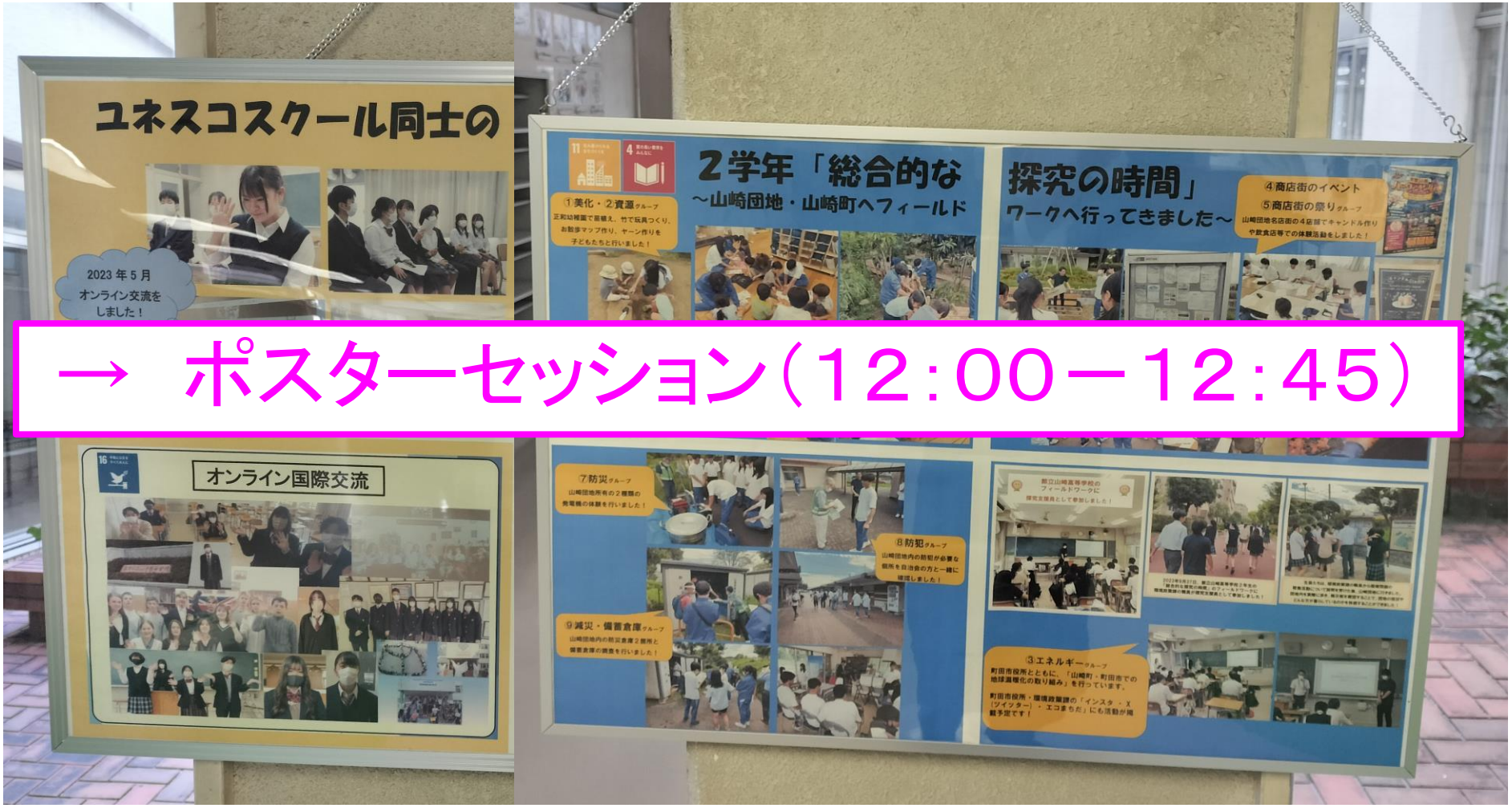
代表生徒達と記念撮影

ユネスコスクール認定証

校内での全教育活動へのESDの推進に向けて



校内での全教育活動へのESDの推進に向けて



→　ポスターセッション（12:00－12:45）

本校の教育課程の特色　― ESD推進 ―

山崎高校は原点に回帰する。

R６年度入学生から
新たな教育課程。

unesco
Member of the Associated Schools Network

4 質の高い教育をみんなに

すべての体験から進路実現へ

18歳成年年齢にふさわしい立ち居振る舞いができる
主権者を育成する学校

特進クラス（仮称）新設
新たな取り組み
習熟度別クラス分けによる個別最適化した学びの実現。学年ごとの目標に応じたクラス編成で進路実現。

０時限目新設
試行実施中
始業前の時間を利用し、検定・資格取得等に挑戦できる学習環境。より深い学びをサポート。

GIGAスクール構想の推進
ipadの導入
一人１台端末の活用による個別最適化された教育の実現。生徒の創造性と自立した学習習慣の確立。

現在、保護者の皆様に積み立てていただいている修学旅行費用をなくして、東京都教育委員会等が主催する海外留学プログラムへの参加を推進し、グローバル人材育成に力を入れていきたいと考えています。

○「STEAM探究×自立×個別最適化」の推進。
○学校指定品の削減。
○上履きをなくして一足制の導入。
○ポロシャツ・ネクタイ・リボン等オプションの選択増。

特別活動や学校指定品の一新！

総合的な探究の時間

１年次
「グローバルな視点で」

・海外のユネスコスクールとのオンライン交流
　→　各校のSDGsの取組みについて語る。
・教科「人間と社会」
　→　環境問題、ごみ問題について探究する。

２年次
「地域に目を向ける」

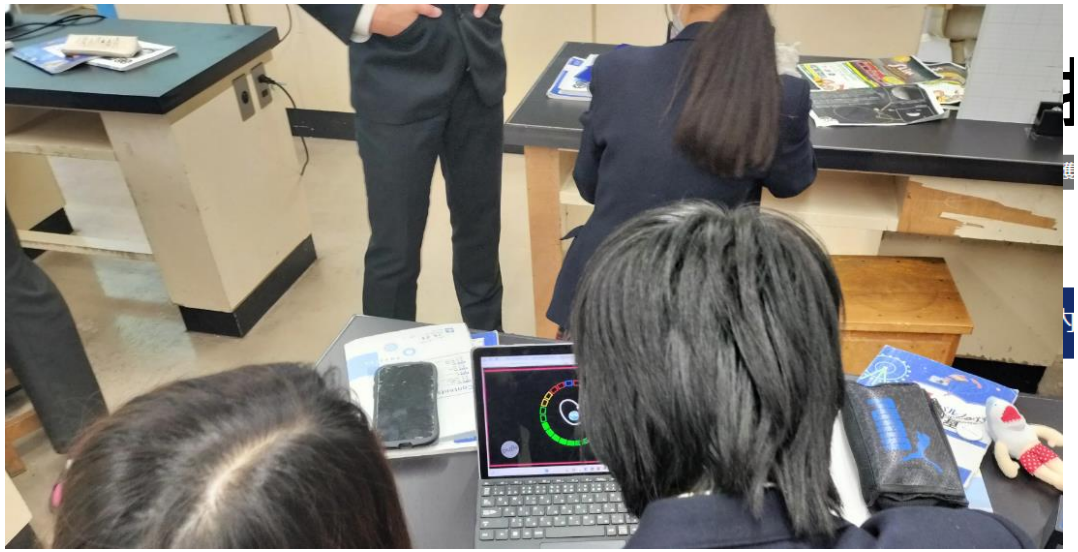
・山崎団地、山崎町へのフィールドワーク
　→　生徒が探究したいテーマを決めて、研究を進める。
　　フィールドワークから調査・研究を進める。
・山崎サミットの開催
　→　探究活動の成果を山崎サミットで発表、討論会を実施。

３年次
「自分自身に目を向ける」

・卒業後の自らの進路をもとに「新たな問い」を見つける。
　→　SDGsの17の項目のどの項目に当てはまるのか。
・１８歳成年年齢にふさわしい主権者となる。

◆進路速報（1/10 現在の合格者の延べ人数）

大学：44 名合格　　明治，立教，明治学院，東洋，帝京，明星　他
短大：８名合格　　洗足こども，東京交通　他



緊急対応 | 保護者・在校生 | お知らせ | イベント | 受検生の方

2023/12/01 お知らせ

やまこうニュース（No.52）　理科・物理基礎　JAXA相模原キャンパスからの招待講演　ESD for 2030

理科「物理基礎」の授業内で、JAXA相模原キャンパスから和泉究准教授をお招きして招待講演を行っていただきました。

これは、本校のユネスコスクールとしての取り組みの中の教科活動（ESD推進、SDGsへの理解と貢献に向けて）となります。

御講演では、JAXAでのSDGｓの取り組み、和泉准教授の御自身の御経験を含んだ探究と学習、和泉准教授の御研究内容（2017年ノーベル物理学を受賞した重力波研究）、人類史上初のブラックホールの映像、H2Aロケット@種子島、SLIMのゲームなど、多くの興味深い内容について御講演いただきました。

資　料　2

令和6年度　都立高校全日制等志望予定（第1志望）調査結果

［東京都中学校長会進路対策委員会］

A　普　通　科　（　学　年　制　）

区市町村名	学　校　名	募　集　人　員	志望予定者数	倍　率
千　代　田	日　比　谷	317	433	1.37
港	三　田	256	514	2.01
新　宿	戸　山	316	507	1.60
文　京	竹　早	222	402	1.81
〃	向　丘	276	471	1.71
台　東	上　野	316	525	1.66
町　田	小　川	316	345	1.09
〃	成　瀬	277	271	0.98
〃	野　津　田	119	79	0.66
〃	町　田	317	421	1.33
〃	山　崎	178	162	0.91

2. 実践紹介

本校のグローバル・ネットワークを
活用した「総合的な探究の時間」

東京都立山崎高等学校の「総合的な探究の時間」の概念図

東京都立山崎高等学校　　令和５年度　ユネスコスクールにおける 「総合的な探究の時間」

東京都立山崎高等学校

立地条件の特色
- 駅から遠く大型団地に囲まれた学校
- 町田市立七国山小学校と町田市立山崎中学校と隣接した学校
- 徒歩圏に保幼小中校そして大学がある学校
- 大型団地には名店街や医療機関等が含まれインフラが整っているが少子高齢化がすすんだ地域にある学校、緑が多く自然環境に恵まれた学校

生徒に身に付けたい能力等
- 令和４年度学校評価アンケート授業力満足度アンケート　61％→74％
- 18歳成年年齢に相応しい立ち居振舞い（高志・敬愛・協働）、挨拶、身だしなみ、コンプライアンス（法令・校則・ルール・約束）
- 主権者（自主・自立・自律）「権利と義務」、役割を果たす、責任、協働

令和６年度より「Green Day」導入予定
- 学校が管理する果木の校庭や地代果収穫などへの取り組み
- ユネスコ理念である命や自然について考えさせ、環境問題・ごみ問題・資源について、そして、持続可能な社会づくりに向けた実践的な取り組み

ユネスコスクール　→　ユネスコの理念を実現するために平和や国際的な連携を実践する学校（ユネスコスクール同士の海外学校との学校間交流）
（ロシア Volgograd#9校、イギリス ICS London校、韓国 Geochang High School校）
→　ＳＤＧｓ１２番目を起点とした地球的課題の解決のため、地域の大人と協働的に環境問題・ごみ問題・資源への理解と貢献
→　持続可能な開発のための教育（ESD）を全ての教科・科目での実践

各教科・科目での持続可能な開発のための教育(ＥＳＤ)の推進・実践　→　教科横断型授業（地理総合・物理基礎・保健・情報）など

総合的な探究の時間（人間と社会含む）

地域探究：　ESD　×　山崎町・町田

地域探究実施支援員「授業やフィールドワーク業務」
- 町田市青年会議所
- 山崎団地自治会
- 正和幼稚園
- 山崎団地名店街（同窓会）
- 町田市役所環境資源部 環境政策課
- ＵＲ都市機構 東日本賃貸住宅本部 多摩・神奈川エリア再生部
- 玉川大学
- 桜美林大学

東京都都立山崎高等学校　３年間の「総合的な探究の時間」のロードマップ

ユネスコスクール

1年次　グローバルな視点で

2年次　山崎町・町田への視点

3年次　個々の進路実現へ

1学期　2学期　3学期
4月　5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

1学年「総合的な探究の時間」

2学年「総合的な探究の時間」

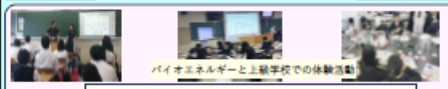
3学年「総合的な探究の時間」

「Green Day」年間6回実施、定期考査後

山崎団地へのウォークウォーク（体験活動）
探究方法発表会
山崎団地へのフィールドワーク（体験活動）
中間発表会
バイオエネルギーセンター（体験活動）
1年まとめ発表会
3年探究テーマの決定

ユネスコスクール姉妹の海外学校（ロシア、イギリス、韓国）との学校間交流

玉川大学からのご講演



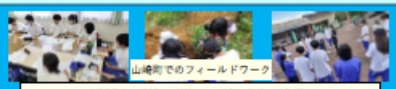
バイオエネルギーと上級学校での体験活動

グローバルな視点からの環境問題・ごみ問題・資源
①町田市役所からの問いの投げかけ
②「町田市バイオリサイクルセンターへの訪問と中間発表会」
③「仮説・探究方法の見つけ方（大学訪問）」

「Green Day」年間6回実施、定期考査後

探究方法発表会
中間発表会
山崎サミット
3年探究テーマの決定

山崎団地・山崎町へのフィールドワーク



山崎町でのフィールドワーク

山崎高校が地域住民と協働しての地域課題解決と地域活性化
①フィールドワーク
②中間発表会
③山崎サミットでの発表と討論会

「Green Day」年間6回実施、定期考査後

市文講演
3年パネル発表会

オープンキャンパス

３９期の代表生徒

それぞれの進路実現に向けた活動
①１・２学年での探究活動を活かした探究テーマの決定
②パネル成果発表会

校外コンソーシアム
- 玉川大学
- 桜美林大学
- 山崎団地自治会
- 同窓会会長 同窓会副会長
- PTA会長
- 町田青年会議所

本校の「総合的な探究の時間」のロードマップ

- ホールスクールとしてのアプローチ
- グローバル・ネットワークの活用
- 本校の実態に合った持続可能な教育活動

組織図

- ホールスクールとしての取り組みとグローバル・ネットワークの活用

ASPUnivNet
玉川大学教育学部
小林教授

地域探究実施支援員
「授業やフィールドワーク業務」

- 町田市青年会議所
- 山崎団地自治会
- 正和幼稚園
- 山崎団地名店街 (同窓会)
- 町田市役所環境資源部 環境政策課
- ＵＲ都市機構 東日本賃貸住宅本部 多摩・神奈川エリア再生部
- 玉川大学
- 桜美林大学

校外コンソーシアム

- 玉川大学
- 桜美林大学
- 山崎団地自治会
- 同窓会会長 同窓会副会長
- PTA会長
- 町田青年会議所

南副校長 → PT主幹教諭 → PT主任教諭

教務主任（外部折衝） → PT主幹教諭

副校長補佐

PT教諭（マネージメント） → PT主任教諭

１学年	１年１組 担任	１年２組 担任	１年３組 担任	１年４組 担任	１年５組 担任				
	分科会「カナダ」	分科会「ニュージーランド」	分科会「イギリス」	分科会「ロシア」	分科会「韓国」				
２学年	探究テーマ①「美化」	探究テーマ②「資源」	探究テーマ③「次世代エネルギー」	探究テーマ④「商店街のイベント」	探究テーマ⑤「商店街の祭り」	探究テーマ⑥「ＵＲ魅力化」	探究テーマ⑦「防災」	探究テーマ⑧「防犯」	探究テーマ⑨「減災・備蓄倉庫」
３学年	３年１組	３年２組	３年３組	３年４組	３年５組				
	分科会「環境・食」	分科会「情報・科学」	分科会「教育、国際、法と経済」	分科会「福祉、子ども」	分科会「医療、職業観」				

東京都独自教科　１学年「人間と社会」

- 「グローバルな視点で」での探究活動

→　ユネスコスクール間の海外学校との学校間交流を活用して

本校と海外学校とのオンライン交流

本校の海外学校間のオンライン交流

- イギリス ISC London校　2023年6月　～
- 韓国 Geochang High School 校　2022年12月～
- **ロシア Gymnasium # ９校　2021年10月～**

- 東京都立高校　海外学校交流推進校

1学年「人間と社会」での探究テーマ

「学校生活における国際理解」
→ 玉川大学 小林教授との協働的な探究活動

３．成果と課題

成果と課題

- 同時双方向でのオンライン国際交流
- 「人間と社会」での探究活動から

→　生徒が主体的にSDGｓ１６番目・１７番目への国際理解と貢献につながる活動

課題

- 姉妹校締結
- 国内留学

→　地域連携を深める

ホールスクールアプローチ

- 生徒から変わる、生徒が変わる、地域がより積極的にかかわり教員が変わる
- ユネスコスクールとして、持続可能な社会づくりを地域とともに、地域からグローバルネットワークへ

・校内でとどまる形ではなく

4. 今後の展望

今度の展望

- さらなるグローバルネットワークを生かして
- 国内外
- 地域連携を深める